

早稲田大学 人間科学部 物理 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
[]	力学 (摩擦のある傾斜上での運動, 衝突問題, 摩擦のない傾斜上での運動と慣性力)	小物体の傾斜面上での運動を多面的に構成した問題で, 摩擦力, 慣性力, 衝突問題, エネルギー保存の保存則などの総合力をみようとした頻出問題である。	標準 標準
[]	電磁気 (抵抗, コンデンサーコイルを含む直流回路, 交流回路)	抵抗, コンデンサー, コイルがもつそれぞれの基本的特性を問う問題で, 回路としては頻出問題である。	
[]	波動 (縦波の伝わり方, 固定端での反射と合成波)	縦波の伝わり方と波の干渉をテーマとした問題である。波と壁との衝突という頻出のテーマではあるが, 壁の位置が微妙なところにあるので, グラフを1つずつきちっと書かないと判断が難しい。	標準

〔総合コメント〕

<p>3問ともテーマは標準的であり, こみ入った計算もほとんどない。ただ, それぞれの分野を構成する基本公式をすべて結びつけて解答できる力を要求している。その意味では, 問題は標準的でも決してやさしいわけではない。</p>
